9 月 27 日「京都学ラウンジ　ミニ講座」（開催報告）

平成３０年９月２７日
京 都 学 ・ 歴 彩 館
０７５－７２３－４８３５

京都学・歴彩館では、京都について学ぶ楽しみを広げる目的で、毎週木曜日に「京都学ラウンジ　ミニ講座」を開催しております。この度９月２７日（木）に「平安京に生きる－都市平安京に生きる人々の悲喜交々－」と題して開催しましたので、下記のとおり報告します。

記

■ 日　　時　　平成３０年 ９月２７日（木）
　　１３：３０～１４：２０

■ 会　　場　　京都府立京都学・歴彩館 京都学ラウンジ

■ 参加者数　　４０名

■ 内　　容
講師　京都府立京都学・歴彩館　京都学推進課　吉岡　直人
「平安京に生きる－都市平安京に生きる人々の悲喜交々－」

■ 講座の様子
9 月最後の木曜日は 1 話完結のミニ講座を開催した。延暦 13 年（794）に遷都した平安京を舞台に天皇や貴族たちを中心に雅な宮廷文化が華開いたことは間違いない。しかし平安京には下級官人や庶民が多く住み、さらには犬や牛などの動物が生活していたことも疑いのない事実である。都市住民はどのような家に住み、どのような生活をしていたのか。彼らの人間模様から浮かび上がる平安京は、どのような都市であったのか。「平安京に生きる」をキーワードに住居、食、排泄、死に注目して、雅な宮廷生活の陰に隠れ、あまり知られていない都市平安京の一面について講義した。
講義の最後に、遙か千年昔の平安時代の出来事がどのように現代に関係してきているのか。古代から学ぶべきことも多いこと、京都には古代と現代を結ぶ回路が色々な所に存在することなどについてコメントがあった。
講師もたじろぐほどに参加者からの積極的な質問があり、京都学ラウンジが大いに盛り上がった。平安時代史に対する参加者の興味は非常に高く、「今まで知らなかった平安京の一面が知れて良かった」など好評を得た。